

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公表番号】特表2011-500938(P2011-500938A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-531038(P2010-531038)

【国際特許分類】

C 08 J	5/24	(2006.01)
C 08 K	3/28	(2006.01)
C 08 K	3/36	(2006.01)
C 08 K	3/38	(2006.01)
C 08 L	83/04	(2006.01)

【F I】

C 08 J	5/24	C F H
C 08 K	3/28	
C 08 K	3/36	
C 08 K	3/38	
C 08 L	83/04	

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月26日(2013.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サブミクロンの窒化ホウ素とシリカと酸化ホウ素を含有する徐々に発生する反応塊中に  
おいて形成されるシラノール-シラノール縮合のシリコーン重合体によって特徴付けられ  
る、メチルおよびフェニルシリセスキオキサン樹脂を含み、そして前記シリカに対して前  
記サブミクロンの窒化ホウ素を10/6乃至20/6の重量比で有する樹脂ブレンドから  
形成され、前記樹脂ブレンドの複数層を含む、高温耐火性弹性複合材の積層材であって、  
前記積層材の上部層は、前記上部層への加熱又は火炎の適用に対してセラミックの耐火  
障壁を形成する外面を有し、

前記積層材の中間層は、前記上部層外面への加熱又は火炎の適用に対してゴムからセラ  
ミックへの変化において柔軟性のあるプレセラミックを形成し、

前記積層材の下部層は、前記上部層外面への加熱又は火炎の適用に対して未燃焼のエラ  
ストマ状態を保持する、前記積層材。

【請求項2】

前記積層材の外縁部がセラミック化されている、請求項1に記載の高温耐火性弹性複合  
材の積層材。

【請求項3】

前記積層材の少なくとも1つの層が少なくとも1つの纖維強化材を含む、請求項2に記  
載の高温耐火性弹性複合材の積層材。

【請求項4】

前記積層材の少なくとも1つの層が、窒化ホウ素とシリカ粒子のフィラーシステムを含  
む、請求項2に記載の高温耐火性弹性複合材の積層材。

**【請求項 5】**

前記窒化ホウ素粒子が酸化ホウ素粒子を含む、請求項 4 に記載の高温耐火性弾性複合材の積層材。

**【請求項 6】**

前記積層材が、125 の温度、200 psi (1379000 Pa) の圧力で硬化され、真空プレス成型され、200 で後硬化される、請求項 1 に記載の高温耐火性弾性複合材の積層材。